

企業短信

～ 新商品・人事ニュース・新設拠点・移転ほか ～

商号・シンボルマークを刷新、自社EC通販サイトもリニューアル

企業コード：040324504 環境大善(株) (北見市)

未利用バイオマスである牛のし尿を微生物で分解したバイオ発酵液「善玉活性水」を原料とし、消臭液や土壌改良材(特殊肥料)などを製造する(株)環境ダイゼン(北見市)は、3月1日付けで商号を環境大善(株)に変更した。

[ブランディングの推進、

ブランドプロミスを表現]

当社は、北海道の主要産業である酪農が引き起こす水質汚染や悪臭被害の改善を目指し、発酵処理による牛尿の無害化と発酵液に含まれる機能性を活用した「善玉活性水™」の製造販売を行っている。設立15期を迎えた昨年、「微生物発酵を利用し製品をつくる」という製造過程で学んだ多くの事を参考にして「発酵経営®」を掲げている。16期目は、発酵経営のビジョンをより鮮明なものにし、持続可能な循環型ビジネスと地球環境の改善を推進する意向で、このビジョンをより明快に打ち出すために、商号を環境大善(株)に変更した。

「発酵経営」は、環境を良くすることで人も発酵し、人が活躍しやすい場所では、発酵が進み新たなイノベーションが生まれるという考え方。新たな社名は、「善玉菌を増やし、土・水・空気を本来あるべき状態に戻す善玉活性水を通じて、環境保全に貢献し、清潔で快適な暮らしをお手伝いする」というブランドプロミスを表現したものとなっている。

商号変更と同時に、新たなシンボルマーク「善玉菌の大善君」も作成した。環境大善の「善」の文字をデザイン化し、善玉菌を表現している。新商号、ブランドプロミス、コーポレートアイデンティティの刷新にあたっては、アートディレクターの鎌田順也氏と協働し、準備を進めた。



[自社EC通販サイトをリニューアル]

4月13日には、自社EC通販サイト「環境大善公式ストア」をリニューアルした。従来の代引きのみの決済から、各種クレジットカード決済、AmazonPayでの決済も可能となった。顧客利便性の向上に加え、商品の使用方法の提案や使用者の生の声のピックアップのさらなる情報発信のほか、定期的に更なる利便性の向上も図っていく方針。また、顧客の生の声を商品開発に活かしていく意向である。

窪之内誠社長は、「地球の環境をみつめる、というコーポレートスローガンとともに、広く社会に貢献する商品をつくっていきたくと考えています。人、暮らし、環境を整え、地球を健康にしていきたい。これが環境大善の約束です。」と社名変更に向けた思いを話す。



地球の健康をみつめる

環境大善

環境大善(株)

〒099-2103 北見市端野町三区438-7

TEL: 0157-67-6788

<https://kankyo-daizen.jp/>